

市消防団藤島方面隊 5箇所で秋の防災訓練

鶴岡市消防団藤島方面隊は9月4日と11日、分団ごとに藤島地域内5箇所を主会場に防災訓練を行いました。

避難訓練や初期消火訓練、火災防御訓練、心肺蘇生訓練など、多くの地域住民の参加で行われました。

最近では自然災害も日常茶飯事の発生となり、防災訓練と同時に「減災」対策も重要になっています。

第1分団 11日 (上平形)



第3分団 4日 (上崎井)



第5分団 4日 (宝徳・箕柵新田)



第2分団 11日 (古郡)



第4分団 11日 (温泉)



各町内会の敬老会日程(藤島地区)

下平形	5月22日	下平形公民館
新屋敷	7月3日	新屋敷町内会公民館
大川渡	7月17日	大川渡公民館
古郡	7月24日	古郡公民館
上町	9月4日	上町公民館
三和	9月4日	三和町内会館
上平形	9月8日	上平形公民館
野田目	9月11日	野田目公民館
藤岡	9月18日	藤岡町内会公民館
中町	9月19日	ふれあいセンター
下町	9月19日	下町町内会館
須走	9月19日	須走公民館
新町	9月25日	新町公民館
駅前	9月25日	藤島地区活動センター
藤の花	9月25日	藤の花町内会集会所
ふじの花荘	9月25日	ふじの花荘
谷地興屋	10月30日	谷地興屋公民館
下中野目	12月	
越後京田	検討中	

※藤の花は「長寿を祝う会」催事をふじの花荘で合同開催

東栄地区	5/22(日)	東栄地区活動センター
長沼地区	6/19(日)	長沼地区活動センター
八栄島地区	6/25(土)	八栄島地区活動センター
渡前地区	6/26(日)	渡前地区活動センター

私の昭和 41

鈴木重雄(88歳・八色木)

八栄島村産業組合
藤島には山居倉庫、駅前倉庫(商社系、現庄内たがわ本所敷地)があったため産組倉庫はできなかった。

設立は大正11年である。藤島は産組運動が盛んであったが八栄島は平穏であった。むしろ山居倉庫の米札も流通し、米価も他に比べ高かったし、何よりも多くの人夫も使っていた。サヤ掛けや、米背負い人夫として大勢働いた。

サヤ掛けは入庫米を開封混合し再調整して均一にした製品にし、俵をサヤ筵で二重包装して縦縄を黒縄で包装した気品ある商品であったので、山居米の評価は全国的に高かった(後に黒俵せんに変えた。駅前倉庫は赤縄包装であった。)

サヤ掛け作業は請負制であるので実力が問われた。一杯やり荷車で送ってもらったというエピソードもある。

各町内会の敬老会

藤島地域の敬老会予算が1人当たり200円削減され、2200円

になったことから、藤島地区の敬老会は各町内会主催で表の日程でおこなわれています。

庄内相撲と成澤武雄さん

(新町 齋藤留治)



いつも私は、民報藤島に掲載される成澤功さん(中町)の「昭和も遠く」には興味を惹かれ、その中に出てくる多くの方々を「さてこの方は誰なんだろう」と思いながら読ませていただいております。

例えば、成澤武雄氏・阿部正雄氏・渋沢栄一氏(私が中仙道を歩いている時、木曾の山中に記念館があった・実業家で財界の大御所として知られる)に繋がるといふ渋沢秀雄氏(映画・放送界で活躍)等々、成澤さんの人脈にはただ驚いております。

そんなことがきっかけとなつて昭和40年代に買い求めてあつた作家石川正敏氏によつて書かれた「庄内風土記・上・中・下」を改めて手にしてみました。

情な勝負の世界で横綱を張つた柏戸、その柏戸の角界入りから横綱となり、やがて引退して親方に：」という内容で、詳細に庄内の相撲関係について記載されていた箇所成澤武雄氏の事が数ページにわたり書かれていました。

私は知る由も無いが成澤さんの家系は古く、成澤功さんは第11代当主にあたるという。庄内風土記の「ある相撲狂」の一節の中に「藤島の大川度に甚左衛門という旧家があります。川南で聞こえた地主でした。：、甚左衛門さんの十代目にあたるのが成澤武雄さん、武雄さんは逸話の多い人で、何よりも相撲狂でした。彼の相撲甚句

国際常識の天賦人権説(すべて人間は生まれながらに自由かつ平等で幸福を追求する権利)まで否定する自民改憲案

第97条は、まず基本的人権は「人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果」であるとし、



などふるえつきたい程惚れ惚れさせる喉でした。」と続いておりますが、当時の庄内には草相撲の有望力士が沢山輩出し、秋田・新潟・山形の3県の対抗相撲大会では主軸になり常に優勝をさらつたのが庄内勢だつたということ。

こうした力士のパترونとして面倒を見ていたのが武雄さん、声よし、重配さほきよし、武雄さんは行司第20代木村庄之助(松翁)から県下ただ一人の本格行司として免許を与えられたという。

庄内が生んだ大横綱柏戸誕生に繋がつたのかも思れないと思つた。

世界ではフランス革命など、日本では、そのさきがけとなつた庄内のワツパ騒動などの自由民権運動、命をかけた戦争に反対した人々など、多くの犠牲のもとで獲得したのです。時には独裁者によつて抹殺されたこともあつたが不死鳥のようによみがえりました。これが「過去幾多の試練に堪へ」ということです。こうして憲法を最高法規とする重い根拠を述べているのです。

自民改憲案は、言葉としては「最高法規」を残していますが、第97条を全面削除してそ

由民権運動、命をかけた戦争に反対した人々など、多くの犠牲のもとで獲得したのです。時には独裁者によつて抹殺されたこともあつたが不死鳥のようによみがえりました。これが「過去幾多の試練に堪へ」ということです。こうして憲法を最高法規とする重い根拠を述べているのです。

自民改憲案Q&Aは、「人権規定も、我が国の歴史、文化、伝統を踏まえたものであることも必要」ところが「西欧の天賦人権説に基づいて規定されていると思われるのが散見」するなどとし、天賦人権説は国際常識なのに、それは西欧の説で、日本には独自のものがあるといい、歴史に逆行するもので時代錯誤もはなはだしいものです。

憲法97条守れ

「基本的人権は永久の権利」

自民草案で削除 有志ら新組織

基本的人権の永久性について明記した憲法97条を守ろうと闘った「97条の会」の設立メンバー。5日、東京・三軒茶屋の「カフェ・オハシ」で開かれた記者会見の様子。左から、代表の石川正敏氏、成澤功氏、石川正敏氏、成澤功氏、石川正敏氏、成澤功氏。

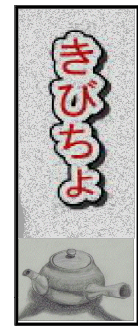
こんなにも恐ろしい自民党改憲草案 第97条

<現行憲法>
第九十七条 この憲法が日本国民に保障する基本的人権は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果であつて、これらの権利は、過去幾多の試練に堪へ、現在及び将来の国民に対し、侵すことのできない永久の権利として信託されたものである。

<自民党案>
丸ごと削除

基本的人権の条文をまるっと削除!

出典：自民党HP http://www.jimin.jp/policy/jamp/14/pdf/kanpou_97.pdf



東京の新市場

毎日新しいことが判つて面白いじゃありませんか。東京は豊洲の新しい市場のことですよ。858億円はどうなつたんでしょうね。知事が変わらなかつたらどうなつていたんでしょうか。

▲この場所・もともと化学物質で大変な土地だとは、前所有者から伝えられており、都は承知の上で買ったんだ。だから工事の前2年かけて慎重な検討の結果、入れ替えも含め4・5mも土盛りをしなければならなくなつたんですよ。専門家の結論を誰が蹴飛ばしたんだ。8年かだかの実行計画模案の中でサ。

▲場所を強引に決めたのが石原で、次が猪瀬・それにセコイを共通語にした舛添と・共に変な知事が続いたモンネ。では済まされない

の精神を骨抜きにしています。

自民改憲案Q&Aは、「人権規定も、我が国の歴史、文化、伝統を踏まえたものであることも必要」ところが「西欧の天賦人権説に基づいて規定されていると思われるのが散見」するなどとし、天賦人権説は国際常識なのに、それは西欧の説で、日本には独自のものがあるといい、歴史に逆行するもので時代錯誤もはなはだしいものです。

んだぜ。事は日本の食糧・私等の命に係わることなんだから。▲建設費は当初計画の倍位になつたんじゃないですか。でも東京はお金持ちだから、全部自前。したがって補助金で仕事をするんじゃないから、会計検査院に叱られるとか、県から怒られるナンテことはないんだナ!

▲そんなことは承知の工事にかかわる大手は、入札を不調にして設計額を引き上げ、請け負つてからは変更・変更で工事費を引き上げたんでしよう。大手は仕事を下請けに丸投げして、甘い汁を吸つては太つていく。

▲イヤ・今はそこが問題ではないんだ。したたか金をかけて作った豊洲の施設はどうなるのかと、土盛りをしない工事になつた原因と責任だ。もう一つは、なぜ土盛りをしたと、今日まで云い続けたのかだ。早くはつきりさせれよ。(石川)